

平成27年度 前期学校評価のまとめ



この資料は、各評価項目について、教職員一人一人から次の観点で評価をしてもらった結果についてまとめたものです。

《 観点 》

- 4・・・よく達成できた
- 3・・・概ね達成できた
- 2・・・努力が必要
- 1・・・かなり努力が必要

《 平均値 》

教職員の評価の平均値を示したものです。

平均値 3.5 : 半数の教職員の評価が4で残り半数が3

《 指標値 》

- S・・・平均値が3.5以上
- A・・・平均値が3.5未満 3以上
- B・・・平均値が3未満 2以上
- C・・・平均値が2未満

熊谷市立富士見中学校

平成27年度 前期学校自己評価 集計		平均	指標値
学習指導の改善	(1)「目標」と「学習内容」を明確にした授業の工夫		
	① 毎時間、目標と学習内容を明確に示した授業を行った。	3.17	A
	② 誰でもわかる授業を工夫し、基礎的・基本的内容の定着に努めた。	3.15	A
	(2)言語活動を工夫した授業の創造		
	① グループ活動など学習形態を工夫し、言語活動の充実に努めた。	2.95	B
	② ノート指導、レポートの指導など書くことに関する指導を行った。	2.95	B
	③ 言語活動の充実に目指し、生徒の発表の機会を意図的に設定した。	3.05	A
	(3)学習規律の定着と学習習慣の確立		
	① 授業の始まりと終わりのあいさつをしっかりと行った。	3.53	S
	② 忘れ物に対する指導を行った。	3.15	A
	③ 学習習慣を確立させるため意図的に宿題を出した。(5教科担当者)	3.00	A
	④ ひた勉の取り組みをしっかりと行った。	3.06	A
	(4)一人一人に応じた支援の推進		
	① 自己評価カードなどを活用し、発問やワークシートなど個に応じた指導を工夫した。	3.13	A
	(5)各種調査結果の効果的な活用		
① 各種調査(全国、県の学力・学習状況調査等)結果を分析し指導に生かした。	2.65	B	
(6)教師が手本となって実践するチャーム始業			
① チャームで授業を始めている。	3.51	S	
心の教育の充実	(1)道徳教育の充実 (他者の喜びや悲しみに心を致すことのできる生徒の育成)		
	① 道徳の時間は、予定通り道徳の授業を実施した。	2.81	B
	② 諸活動やいじめ問題などとおして、他者の喜びや悲しみに心を致すことのできる道徳教育に努めた。	3.17	A
	③ 人権感覚を育成し、自他共に尊重する実践力を身につけさせるよう努力した。	3.09	A
	(2)特別活動の充実 (心の触れ合う学年・学級経営)		
	① 学活の時間は、予定通り学活の授業を実施した。	3.24	A
	② 諸活動をとおして、生徒同士、教師と生徒の心の触れあう学年・学級経営に努めた。	3.43	A
	③ 生徒が主役となる諸行事や学級活動を展開した。	3.27	A
	(3)体験活動の推進 (五感をフルに使った学び)		
	① 体験活動(修学旅行、大滝体験学習、職場体験学習、社会体験学習)を生徒の学びの場ととらえ指導した	3.37	A
	(4)読書活動の推進 (心を耕し自分を見つめる時間)		
	① 朝読書開始時刻8:20に教室(廊下)にいった。	3.17	A
	② 朝読書充実のため、読書をしていない生徒への指導を行った。	3.24	A
	(5)ノーマライゼーションの理念に立つ教育の推進		
	① 誰もがわかる授業、だれもが居心地のよいクラスづくりに努めた。	3.08	A
(6)教師が手本となって推進する美しい学舎づくり			
① 清掃の時間、清掃場所に行き、状況を見届け反省会等で指導した。	3.44	A	
(7)日本の伝統文化、富士見中の学校文化の良さを自覚し、自信と誇りを持たせる教育の推進			
① 機会あるごとに、生徒の活躍を紹介し、生徒に自信と誇りを持たせた。	2.93	B	
健康な身体づくりの推進	(1)運動部・文化部活動の充実		
	① ほぼ毎日、部活(朝練習、放課後練習)にでて指導を行った。	3.18	A
	② 欠席がちな生徒への指導を行った。	3.26	A
	(2)健康教育・安全教育の推進 (自転車マナーアップの取組をとおして危険回避の実践力育成)		
	① 虫歯などの治療勧告を受けた生徒への指導を積極的に行った。	2.77	B
	② 機会あるごとに交通安全に関わる指導を行い、危険回避の力を身につけた。	2.97	B
	③ 下校指導をほぼ毎日行った。	3.10	A
	(3)基本的生活習慣の確立 「熊谷の子どもたちはこれができます」「4つの実践」と「3減運動」		
	① 「4つの実践」と「3減運動」を意識して指導し、基本的生活習慣の確立をはかった。	2.85	B
	(4)教師が手本となって行う4つの実践		
① 教師自身が、あいさつを積極的に行うなど「4つの実践」を実践している。	3.27	A	
その他	① 三者(学校・家庭・地域)が一体となる教育を推進するため、家庭との連絡をこまめに取った。	3.10	A
	② 信頼される学校を目指し、職員事故(交通事故、金銭事故、飲酒、暴力行為等)の絶無に努めた。	3.51	S
いじめ	① いじめのアンケートに○を付けた生徒やいじめ行為をうけた生徒に対し、その日のうちに対応(担当職員に報告、本人に話を聞く)した。	3.50	S
	② 普段の授業の中で、人を中傷するような発言があったとき、その場で注意した。	3.63	S
	③ 気になる生徒への声かけを定期的に行った。	3.41	A
	④ いじめを受けた生徒へ、その子を守るという気持ちで事後指導を行った。	3.44	A

前期の結果

【平均値の高い項目】 ※平均値が高い順に並べています。

- ① 普段の授業の中で、人を中傷するような発言があったとき、その場で注意する。
- ② 授業の始まりと終わりのあいさつをしっかりと行った。
- ③ チャイムで授業を始めている。
- ③ 信頼される学校を目指し、職員事故の絶無に努めた。
- ⑤ いじめのアンケートに○を付けた生徒やいじめ行為を受けた生徒に対し、その日のうちに対応した。

【平均値の低い項目】 ※平均値が低い順に並べています。

- ① 各種調査（全国や県の学力・学習状況調査等）結果を分析し、指導に生かした。
- ② 虫歯などの治療勧告を受けた生徒への指導を積極的に行った。
- ③ 道徳の時間は、予定通り道徳の授業を実施した。
- ④ 「4つの実践」「3減運動」を意識して指導し、基本的生活習慣の確立を図った。
- ⑤ 機会あるごとに、生徒の活躍を紹介し、生徒に自信と誇りを持たせた。
- ⑥ グループ活動など学習形態を工夫し、言語活動の充実に努めた。
- ⑥ ノート指導、レポートの指導など書くことに関する指導を行った。
- ⑧ 機会あるごとに交通安全に関わる指導を行い、危険回避の力を身に付けさせた。

後期の対応

【できていることは、継続しましょう！】

平均値が高い項目は「学習規律の徹底」「いじめ対応」「職員事故への意識」に整理することができます。いずれも組織的な取組が効果をあげています。また、今年度は「教師が手本となって」ということに重点を置いた教育活動に取り組んでいます。「チャイム始業」「美しい学舎づくり」「あいさつなど『4つの実践』の実践」ともに平均値が高かったです。

【改善すべきことは、改善しましょう！】

- | | |
|-------------------|----------------------|
| ○ 各種調査の分析・活用 | → 学力向上推進委員会の取組 |
| ○ 治療勧告を受けた生徒への指導 | → 担任から家庭へ（教育相談の活用） |
| ○ 道徳の授業 | → 道徳資料の共有化 |
| ○ 「4つの実践」「3減運動」 | → アンケートの実施と活用 |
| ○ 生徒の活躍の紹介 | → 学校・学年・学級だより、掲示板の活用 |
| ○ グループ活動など学習形態の工夫 | → 学校研究課題の推進 |
| ○ 書くことに関する指導 | → 学校研究課題の推進 |
| ○ 交通安全指導 | → 登下校指導の集約、事後指導 |